

大学運営会議議事録		
開催日 及び場所	令和4年4月14日(木) 午後2時00分から午後3時15分まで 特別会議室 Web (ZOOM) 会議同時実施	
出欠状況	出席：37名 欠席：2名	
<p>1 報告事項</p> <p>(1) 学長補佐の指名について</p> <p>(2) ①令和4年度開学記念行事について（静岡県立大学） ②令和4年度開学記念行事について（短期大学部）</p> <p>(3) 令和4年薬剤師国家試験合格者の状況について</p> <p>(4) 令和4年管理栄養士国家試験合格者の状況について</p> <p>(5) 令和4年保健師・助産師・看護師・歯科衛生士・介護福祉士国家試験合格者の状況について</p> <p>(6) 静岡県公立大学法人令和4年度当初予算について</p> <p>(7) 公的研究費等不正防止計画(令和3年度実績及び4年度計画)について</p> <p>(8) 令和3年度 CSIRT 活動報告等について</p> <p>(9) 令和4年度静岡県立大学大規模修繕工事予定について</p> <p>(10) 令和4年度草薙キャンパスにおける全学停電について</p> <p>(11) 令和4年度電気設備法定点検の停電に伴う全学システム停止</p> <p>(12) 学内ネットワーク更新に伴う全学システム停止</p> <p>(13) 2022年度の広報戦略について</p> <p>(14) THE 世界大学ランキング日本版 2022の結果について</p> <p>(15) 令和3年度短期大学部健康管理区分判定結果について</p> <p>2 その他</p> <p>(1) 令和4年度大学運営会議の開催日程について</p>		

- ・前回議事録(案)の確認

令和4年3月の大学運営会議議事録(案)について、承認された。

1 報告事項

- (1) 学長補佐の指名について

昨年度同様の7名にお願いすることについて異論はなかった。

- (2) ①令和4年度開学記念行事について（静岡県立大学）

昨年度、一昨年度はコロナ禍で中止となり、3年ぶりの開催となる。

開催日時は4月20日10時から16時。

午前中はシンポジウム、午後はUSフォーラム及び脱出ゲームを開催する。構内の案内を兼ね、様々な場所を回る脱出ゲームを学生が企画。コロナ感染症対策のため、開学記念行事で例年開催する運動会の代替案として考案された。

<意見>

- ・同窓会連合会のメンバーへの情報共有はどの程度できるか。(構成員)
- ・同窓会連合会の会長、副会長等含む7、8名は大学に来ていただき、そのほかの同窓生の中で出席いただける方へは、ZOOMにより御参加いただく。平日なので同窓生が現地に来るのは難しい。(説明者)
- ・後から見られるアーカイブという形を取ってみてもよいのではないか。よりたくさんの方に観ていただけるように。(議長)
- ・ビデオ撮影を行う予定なので、そのように検討していく。(説明者)

②令和4年度開学記念行事について(短期大学部)

開学記念行事は3年ぶりの開催で、学生代表と協議の結果、スポーツ大会若しくは交流会を実施したいと考えている。

現在の活動指針を踏まえ、感染対策を徹底した上で、基本的にはスポーツ大会(学科ごと2部制、グラウンドと体育館の併用)を実施する予定。感染拡大若しくは雨天の場合には、学科ごとの交流会とする。交流会の場合は教室の収容人数の50%とする。学生の気持ちを尊重しつつ、安全対策を徹底して開催していく。

(3) 令和4年薬剤師国家試験合格者の状況について

男女別で見ると、女性の方が高いが、新卒での男女合格割合はそれほど変わらない。国公立と私立の合格率に差が出てきているのが現状。

本学受験者の6年制新卒合格率は80名中76名合格の95.00%であり、国公立開示17校の中で4位。

<意見>

- ・表について、3年、4年の記載部分は令和の「R」をつけるように。(議長)
- ・合格率1位(100%)は東京大学1校だが、人数は10人受験の10人合格という数である。そのほか合格率の良かった国公立大学は徳島大学、合格者数は43人。岐阜薬科大学、合格者数74人とあるが、合格者数は国公立大学で本学がトップ。私立では出願者数と受験者数に開きのある大学があるが、本学はそれがないという点でも評価できる。国際医療福祉大学は出願者数に対しての算出でも合格率が良く、合格者数は134名出しているので、立派な成績である。私立では国際医療福祉大学を除き、出願者数に対しての合格率で、本学の95.00%を上回る大学はない。令和4年国公立受検校73校中、本学は5位。トップ10%以内という好成績を収めている。(構成員)

(4) 令和4年管理栄養士国家試験合格者の状況について

本学の卒業受験者25名中25名合格、合格率は100%であり、6年連続100%達成となった。

24校ある国公立大学の管理栄養士養成施設のうち、新卒者合格率が6年連続100%の大学は本学を含め3校(奈良女子大学・新潟県立大学・静岡県立大学)のみ。

(5) 令和4年保健師・助産師・看護師・歯科衛生士・介護福祉士国家試験合格者の状況について

保健師、助産師、看護師、歯科衛生士、介護福祉士の国家試験いずれも、全国平均を上回る結果となった。助産師養成課程は開始以降、11年間合格率100%を達成している。看護師の新卒受験者119名中116名合格、合格率は97.5%であり、全国の新卒受験者の合格率91.3%を上回る結果となったが、不合格者数は例年より多い形となった。歯科衛生士の合格率は6年連続100%を達成。既卒者1名についても合格している。既卒者1名は令和2年度卒業生で、在宅療養に伴い昨年は受験を見送った。介護福祉士の合格率は3年連続で100%を達成した。

(6) 静岡県公立大学法人令和4年度当初予算について

本件については、3月28日に開催された経営審議会及び役員会で承認されたものである。

令和4年度の予算額は総額約82億6,668万円で、前年度と比較して約1億3,216万円の増額、対前年度比で101.6%となっている。なお、科学研究費補助金はここ数年増加しており、教員の御尽力の成果が数値で表れた結果と考えている。

今後、大学財源状況の厳しさや施設の老朽化の状況等を県に報告し、必要な財源の確保に向けた取組を行っていく。

そのほか歳入予算、歳出予算及び主要事業については記載のとおりで、質問や意見等は無かった。

(7) 公的研究費等不正防止計画(令和3年度実績及び4年度計画)について

本計画は、文部科学省「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」を踏まえて策定するものであり、報告内容は、令和4年3月開催の公的研究費等適正管理推進委員会で承認されたものである。

令和3年度取組実績は、従前の取組を継続したほか、取組の再点検、体制整備の推進として、令和3年2月に改正された文部科学省ガイドラインに基づく「体制整備等自己評価チェックリスト」により点検を実施した。

コンプライアンス教育については、eラーニングによる研修として、全教員対象のeLCoRE及び希望者対象のeAPRINを実施し、eLCoREは100%の受講率を達成した。

令和4年度取組計画は、コンプライアンス教育及び体制整備の推進を強化項目に位置付け、コンプライアンス教育についてはeAPRINの利用を推進すること。体制整備の推進については、「ガバナンスの強化」「意識改革」「不正防止システムの強化」の3項目を柱とした不正防止体制の整備を推進する。

<意見>

・「公的研究費等不正防止計画」は学長が最高管理責任者という立場で推進していくという取組であり、不正というものが本学から出ないように取り組んでいくので、皆様におかれましても御協力をいただきますよう、よろしく申し上げます。(議長)

(8) 令和3年度CSIRT活動報告等について

CSIRTは情報セキュリティインシデントに関する統一的な窓口であり、令和3年度CSIRT活

動報告として、2件の情報セキュリティインシデントに対応した。内容は記載のとおり。

令和4年1月20日発生事案について、感染した端末はオフラインではあったが、外部から持ち込まれたUSBメモリを経由して感染したものと予想される。

令和4年度情報セキュリティ管理責任者等については、後日別途照会を行うので、情報セキュリティ管理責任者等の変更等が発生した場合には、報告いただきたい。

<意見>

・昨今フィッシングメールの数が膨大であり、スパムフィルタで排除しているところではあるが、内容が巧妙になってきているので、御注意いただきたい。Emotet (エモテット) というコンピューターを乗っ取る巧妙な手口もあり、情報センターでは注意喚起を行っていくので、資料やメール等を確認いただきながら、各自対策をお願いしたい。セキュリティインシデントが発生した際には、情報セキュリティ管理責任者等を通し、CSIRTまで報告をいただきたい。(構成員)

・新しい事例などの情報共有も必要になってくるので、即時報告をお願いするとともに、緊張感を持って対応するようにお願いする。(議長)

(9) 令和4年度静岡県立大学大規模修繕工事予定について

本学では、老朽化した建物・建築設備について長期間安定した施設運用を目指し、計画的に大規模な修繕工事を実施しており、令和4年度は草薙キャンパスで6件の工事を予定している。工事内容については記載のとおり。

いずれの工事も関係部局と調整し施行していくので、御協力をお願いしたい。

(10) 令和4年度草薙キャンパスにおける全学停電について

電気事業法に基づく自家用電気工作物の年次点検を行うため停電する。実施日時は令和5年1月28日(土)の9時から15時頃まで、学生ホール、薬草園温室棟、クラブ棟A及び体育館の一般電源が停電する。2月11日(土)については、9時から13時30分頃まで、全学の一般電源が停電し、13時30分から17時頃までは全額の一般電源及び非常用電源が停電する。

全学停電中は、仮設電源及びドライアイスにて対応するため、必要量調査の際には御協力をお願いしたい。

情報系については、前日より停止処置を行うこととなっており、小鹿キャンパスでは停電はないが、インターネット等草薙キャンパスの停電の影響を受けシステム停止となるので、御留意いただきたい。

(11) 令和4年度電気設備法定点検の停電に伴う全学システム停止

2月11日の全学停電に伴い、前日2月10日18時から順次システムを停止していく。復帰は停電後極力早くするよう努めるが、2月11日は、終日全学情報システムを停止するという認識でお願いしたい。草薙キャンパス以外の小鹿キャンパス、グローバル地域センター、県立総合病院においては、停電はしないが、草薙キャンパス同様に学内ネットワーク、電子メール、学務情報システム等の情報センター所管システムを停止する。課題提出期限等の設定をしない、オンライン学会等を行わないという点で御注意いただきたい。

(12) 学内ネットワーク更新に伴う全学システム停止

学内ネットワークの更新に伴い、想定日程ではあるが、更新作業を1月21日から22日または1月28日から29日のいずれかで予定している。その間は学内ネットワークや学内情報ポータル等といったネットワークが全て停止するので、停電時同様に課題提出期限等の設定をしない、オンライン学会等を行わないという点で御注意いただきたい。草薙キャンパス以外の小鹿キャンパス、グローバル地域センター、県立総合病院についても同様に御留意いただきたい。

証明書発行機も停止することから、学生の就職活動や実習等にも影響を及ぼす可能性があるため、周知いただくようお願いする。

今後の状況によって、やむを得ない事情等が発生した場合には、日程変更等も出てくる可能性があるため、御了承いただきたい。更に3月には学外ネットワークについても更新を予定しているため、日程や詳細を含め決まり次第周知する。

(13) 2022年度の広報戦略について

本報告内容は令和3年度広報委員会で承認されたものである。

広報戦略の主な施策は4つを柱とする。1点目はデジタル広告を活用した情報発信。2点目は「静岡県立大学学生広報大使」の創設。2点目は、今年が目玉として「静岡県立大学学生広報大使」を創設する。3点目は、動画を活用した情報発信。デジタルコンテンツの増加を目標としてやっていく。4点目は、SDGsへの取組や産学官連携活動を含めた地域貢献活動の情報発信を積極的に実施する。

特に2点目に注力していく上で、具体的には4月8日に大学ホームページに広報大使募集に関する情報(チラシ)をアップした。本学5学部、短大部、国際部(留学生枠)の中から、初年度は7名選出を予定している。本学と短大部は公募制、国際部は学生室より推薦いただくようお願いする。4月25日が公募締切となっているため、各教員から学生への周知をお願いする。発信力のある学生の募集、推薦をお願いしたい。5月下旬に選考会を実施し、任期は6月1日から翌年3月31日とする。チラシにも記載してあるとおり、活動費の支給や学長からの任命を行うので、積極的な協力をお願いする。

3点目の動画を活用した情報発信については、令和3年度に動画による学内の様子を発信したところ、非常に大きな反応があったため、こちらは引続き今年度もデジタルコンテンツを活かしていきたい。

<意見>

・昨年度1点目の広報戦略による「夢ナビ講義」を行ったが、参加者の中で温度差がある印象を受けた。非常に良いものを提供できたと実感しているが、本当にやる気のある者が受けていたのか、反対に広報側の指示を受け、無理矢理受けさせられているのかと感じてしまう高校もあった。その点で、こちらの意図していたことが「夢ナビ講義」を通じて伝えられたのかは疑問に感じる部分があった。1番は費用対効果の良い広報をすることから、このような広報を受けて受験をすることを決めた等の情報がありましたら、学部広報でも活用したいので、教えていただきたい。(構成員)

・データを収集し、提供していけるように対応する。(説明者)

・「広報大使」は学生の履歴書にも記載できるような形で任命するので、その点は強調し

た形で周知いただきたい。(議長)

(14) THE 世界大学ランキング日本版 2022 の結果について

THE 世界大学ランキング日本版 2022 について、本学は総合ランキングで全 273 校中 94 位であり、昨年と同順位となる。公立大学中 13 位、東海 4 県大学中 11 位であった。5 年連続で 100 位以内という結果となった。

日本版は、大学の「教育力」に重点を置いている。

「教育リソース」は、学生一人当たりの資金や教員一人当たりの競争的資金獲得数等を指標としている。「教育充実度」は、学生調査や高校教員の評判調査結果を指標としている。「教育成果」は企業人事や外部の研究者の評判調査結果を指標としている。「国際性」は外国人学生比率や外国人教員比率等を指標としている。

昨年の大学運営会議において、本学は「国際性」のランクが低いという報告をしており、本学ホームページにおいては「国際」という名目の掲示がないという点を指摘したが、昨年度の中で、「国際」に関するページを作成した。昨年と比較すると「教育リソース」は下がっているが「教育充実度」は上がっている。「教育成果」は若干の増加、「国際性」は大きな変化はなし。今回の総合ランキングは前年と同順位の結果となった。静岡大学と比較すると、「教育リソース」「教育充実度」は本学が上回っているが、「国際性」で、本学が下回る結果となった。

順位推移として、2018 年度 88 位、2019 年度 71 位、2020 年度 87 位、2021 年度 94 位となっている。結果の数値に一喜一憂する必要はないが、本学の大学運営において、客観的に捉える上では活用できる指標であると考えられる。

<意見>

・趣旨の部分について、本学 THE 世界大学ランキング日本版へのエントリーは 4 回目ではなく 5 回目なので修正をお願いする。(説明者)

・「教育成果」について、卒業生の活躍がどれだけ期待されるかという説明があったが、期待というのはイメージであり、実際の教育成果を示すものにはならない。卒業生が社会に出てどのくらい活躍をしているかという指標が設定でき、客観的に測れるのであれば、それを「教育成果」とすることは不可能でもない。しかし、例えば企業などの大学イメージを「教育成果」としてしまうのは、ミスリーディングである。ランキングをする以上は、正確に評価基準を設定した上で情報開示し測っていかなければならない。担当者に言葉の使い方を検討してもらう必要があるのではないか。(構成員)

・「教育成果」では企業人事の評価が大きく点数化されている。研究者評価というものも指標の中には組み込まれており、評価基準は学生に比重があると判断する。指標説明では「活躍が期待されるか」という説明にはなっているが、「活躍しているか」という名目で企業人事から評価してもらった結果である。評価基準についての詳細は開示されていないというのが実態としてある。(説明者)

・ランキングで公表するからには評価基準をきちんと情報公開してやるべきではないか。
(構成員)

・大学ランキングは参考にはするが、それを目的にしてはいけない。(議長)

・THE 大学ランキング日本版は広報委員会が担当し、THE 大学ランキング世界版は国際交

流が担当で、統一されていないのは違和感がある。(説明者)

・異なる視点から見るという点では、必ずしも悪いとは言えない。(議長)

(15) 令和3年度短期大学部健康管理区分判定結果について

令和3年度の短期大学部における勤務上の健康管理状況としてはおおむね問題がないと判断する。過去3年を見ても、勤務上制限を加える必要がある判定を受けたのは平成30年度のみで、それ以降判定結果上問題はなく、令和3年度についても例年どおりという判定となった。

2 その他

(1) 令和4年度大学運営会議の開催日程について

原則、大学運営会議は第2木曜日午後2時からを予定しており、開催日は記載のとおり。

参考として、教育研究審議会を開催日程についても記載しているので、御確認いただきたい。最後のページに会議の開催をカレンダーとして表示したものを掲示したので、御活用いただきたい。

(2) コミュニティプラザへの日除け設置について

昨年度にコミュニティプラザへ椅子とテーブルを設置したが、時季によっては非常に暑くなることから、日除けを設置する予定。日除けはサイズが大きく、一度設置すると簡単には動かせないなので、設置により不都合が生じる場合には御連絡いただきたい。